※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 102 |
|---|---|

令和５年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史探究 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 詳説世界史探究(山川出版社) | | | | | | |
| 副教材等 | ・アカデミア世界史（浜島書店）<br>・詳説世界史授業用整理ノート（山川出版社） | | | | | | |

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史探究は、世界の歴史に関する諸事象について、地理的条件や日本の歴史、資料等を活用してまとめる科目です。以下に世界史探究における学習目標をあげておきます。

一つ目の目標は知識と技能の習得です。世界史探究では世界の各地域、各時代の特徴を理解することを目的としています。また技能とは、様々な資料から歴史に関する情報を選び出して効果的にまとめる力のことです。理解を深めるために日本の歴史や地理に関する情報を組み合わせることもあります。

二つ目が思考力、判断力、表現力を培うという目標です。歴史探究で示す思考力、判断力、表現力とは、主題について考察する力を指します。具体的には、ある国の成り立ちについて主題を設定し、近隣諸国や古代の国家の形成過程について、その意味や意義について説明、表現等ができる、といった力のことです。また思考力、判断力、表現力は、世界史だけでなくあらゆる学力にも直結しています。

三つ目の目標は、学びに向かう力と人間性の醸成です。主体的に学びが得られる歴史探究を進めることでやる気が高まり、「もっと学びたい」と感じるようになります。自分で決めた問いに向かって学習を進めることで、モチベーションを保ちながら学びを得られるようになります。

四つ目の目標は、歴史を読み解く力を身につけるということです。歴史探究における歴史の読み解きとは、現代世界との結び付けを意味します。国、時期、年代、背景などあらゆる事象から類似点や相違点を考え、現在の世界にどのような影響を及ぼしているのかを理解する力が身に付きます。

五つ目の目標は、情報活用力を鍛えるということです。世界史探究で活用する情報は、新聞や雑誌、絵画や地図、写真等様々あります。探究活動を通じて、それぞれの資料を必要に応じて比較検討する習慣が備わり、情報を上手に活用する力が身についていきます。情報活用力は社会に出ても活かせる部分であり、学校教育の間に鍛えておくべき能力の１つです。

２　学習の到達目標

・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているか。<br>諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身についているか。 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察しているか。<br>歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が身についているか。 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度が身についているか。<br>多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などが深まっているか。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | | | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 第1学期 | | | 世界史へのまなざし① | ①人類の誕生を地球46億年の歴史のなかに位置づけて考察する。<br>②自然環境と人類の関わりの概要を理解する。<br>③人類の進化の過程の概要を理解する。 | a. 自然環境と人類の関わり、および人類の進化の過程の概要を理解している。<br>b. 長期にわたる地球気温の変化を示す統計資料や「地球カレンダー」などの資料をもとに、地球の自然環境が直面している危機およびその克服へ向けた取り組みを、多面的・多角的に考察し表現している。<br>c. 自然環境と人類の進化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | 世界史へのまなざし② | ①砂糖とコーヒーを事例として、自らと世界史のつながりについて考察する。<br>②余暇や家族を事例として、歴史的に形成されてきた概念が日常生活のなかにあることを理解する。<br>③余暇や家族を事例として、モノの見方や考え方と社会の仕組みとの関係を考察する。 | a. 今日の社会で一般的とされていることの多くが歴史的に形成されたもので、地域や時代によっては一般的ではないことを理解している。<br>b. 日常生活のなかに世界史とつながっているモノを見出し、自分自身と世界のつながりを多面的・多角的に考察し表現している。<br>c. 日常生活と世界史のつながりについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第１部　諸地域の歴史的特質の形成 | 第１章　文明の成立と古代文明の特質 | １文明の誕生 | ①自然環境の変化と農耕・牧畜の開始との関係について考察し、文明誕生の基礎について理解する。<br>②おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。 | a．都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。<br>b．壁画や粘土板などの資料をもとに、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．文明の誕生について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ２古代オリエント文明とその周辺 | ①オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。<br>②都市国家に富や権力が集まった理由を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産を理解する。<br>④エジプト王国が長期にわたって安定した支配を続けられた理由を多面的・多角的に考察し表現する。<br>⑤シリア・パレスチナ地方で多くの民族が興亡を繰り返した背景を理解する。<br>⑥クレタ文明とミケーネ文明を比較し、そのあいだの性格の違いを理解する。<br>⑦アッシリアがオリエントをはじめて統一することができた背景を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。<br>b．ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．オリエント文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ３南アジアの古代文明 | ①南アジアの多様性を生み出した地理的環境について理解する。<br>②南アジア最古の文明であるインダス文明が栄えた場所の特徴を理解する。<br>③アーリヤ人の進入が南アジアにもたらした変化について多面的・多角的に考察し表現する。 | a．南アジアが南北に大きく二分されること、それぞれの風土に適合した生活が古くから営まれていたことを理解している。<br>b．ヴァルナ制やジャーティ集団の成立をもとに、アーリヤ人社会に富や地位の差が生まれていった背景や原因を考察し表現している。<br>c．南アジアの古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ４中国の古代文明 | ①東アジアでは、気候の異なる地域が混在していたことを理解し、それぞれの気候が各地の生業などに与えた影響を考察し表現する。<br>②殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解する。<br>③春秋時代と戦国時代を比較し、とくにそれぞれの秩序について違いを見出す。<br>④戦国時代の社会において、鉄器の普及がおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．東アジア各地の風土が、それぞれの地で多様な生業とそれに基づく先史文化を生み出したこと、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。<br>b．青銅器や獣骨など考古学的資料や『春秋左氏伝』などの資料をもとに、当時の政治や支配のあり方を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．中国の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ５南北アメリカ文明 | ①北米と中南米の先住民社会を比較し、共通点と相違点を理解する。<br>②中南米にさまざまな先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．南北に長く広がるアメリカ大陸の各地で、それぞれの地域の環境に適応した文化・文明が発展したことを理解している。<br>b．南北アメリカ文明に共通する特徴、とくにユーラシアやアフリカの古代文明とは異なるものを多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．南北アメリカ文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | 第２章　中央ユーラシアと東アジア世界 | １中央ユーラシア | ①中央ユーラシアの人々が営んでいた生活と風土との関係を理解する。<br>②騎馬遊牧民が強大な国家を築くことができた理由を多面的・多角的に考察し表現している。<br>③遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解する。<br>④オアシス民と遊牧民の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、彼らの周辺の諸勢力との関係を理解している。<br>b．風土を示す写真や『史記』匈奴列伝などの資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．中央ユーラシアの動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ２秦・漢帝国 | ①新たに現れた「皇帝」の特質について、それまでの「王」と比較しながら理解する。<br>②漢の支配体制の変遷を理解する。<br>③統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 | a．秦・漢といった統一国家の支配体制について、それまでの春秋・戦国時代と比較したうえで理解している。<br>b．兵馬俑や青銅貨幣など考古学的資料や『塩鉄論』禁耕などの資料をもとに、秦・漢の時代に生じた地域間の結びつきの変化や、統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．秦・漢帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ３中国の動乱と変容 | ①遊牧民族の動きと魏晋南北朝の動乱との関係について理解する。<br>②魏晋南北朝時代に仏教や道教が力を持つようになった要因や背景を、多面的・多角的に考察し表現する。<br>③魏晋南北朝時代の中国の情勢が、朝鮮や日本に与えた影響について理解する。 | a．魏晋南北朝の動乱がどのように展開したのかについて、遊牧民族との関わりもふまえたうえで理解している。<br>b．「女史箴図」などの図像資料や『顔氏家訓』などの資料をもとに、魏晋南北朝時代の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．魏晋南北朝の動乱について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ４東アジア文化圏の形成 | ①唐の勢力圏の広がりを理解する。<br>②唐代初期の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③唐の制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解する。<br>④安史の乱前後の唐の制度や社会の変化を多面的・多角的に考察し表現する。<br>⑤突厥・ウイグルと隋・唐の関係を理解する。<br>⑥ソグド人の中央ユーラシアや東アジアにおける役割について理解する。 | a．隋・唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。<br>b．壁画などの図像資料や『旧唐書』輿服志などの資料をもとに、隋・唐の社会の特徴や近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．東アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | 第３章　南アジア世界と東南アジア世界の展開 | １仏教の成立と南アジアの統一国家 | ①仏教やジャイナ教などの新たな宗教に共通する点について理解する。<br>②南アジア最初の統一王朝であるマウリヤ朝のもとでの仏教の発展について理解する。<br>③クシャーナ朝と周辺諸地域との関係を多面的・多角的に考察し表現する。<br>④「海の道」の交易における南インドの役割を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。<br>b．インド洋航海図（地図）や『エリュトゥラー海案内記』などの資料をもとに、インド洋交易の広がりを多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．南アジアで生まれた諸宗教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ２インド古典文化とヒンドゥー教の定着 | ①グプタ朝における宗教や文化の展開を理解する。<br>②８～10世紀の諸勢力が割拠した時代における各地の政権の政策を理解する。<br>③ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．インド古典文化の黄金期とされるグプタ朝において、文化がどのように展開したのかを理解している。<br>b．それまで仏教やジャイナ教が盛んだったことをふまえたうえで、ヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．インド古典文化とヒンドゥー教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ３東南アジア世界の形成と展開 | ①東南アジアの風土について他のアジアや日本と比較したうえで理解する。<br>②東南アジアと南アジア・中国との関係を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③東南アジアにおける国家形成の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．東南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。<br>b．東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | 第４章　西アジアと地中海周辺の国家形成 | １イラン諸国家の興亡とイラン文明 | ①アケメネス朝が広大な領域に中央集権的支配を築ことができた背景や要因を理解している。<br>②パルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。<br>③パルティアとササン朝が東西の文明の間で担った役割を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．アケメネス朝、パルティア、ササン朝といったイラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのかを理解している。<br>b．ササン朝と法隆寺の「獅子狩」図案などの資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．イラン文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ２ギリシア人の都市国家 | ①ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。<br>②スパルタが軍国主義をしいた理由を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③民主政発達の経緯および現代の民主主義との相違点について理解する。<br>④ギリシアの諸ポリスがマケドニアに敗れた要因を多面的・多角的に考察し表現する。<br>⑤ヘレニズム時代の歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。<br>⑥ギリシア文明が近代ヨーロッパにもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。<br>b．オストラコンなどの考古学的資料や「ペリクレスの演説」などの資料をもとに、ギリシアの人の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．古代ギリシアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ３ローマと地中海支配 | ①ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。<br>②地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。<br>③ローマの内乱の発生から終息までの経緯を理解する。<br>④「ローマの平和」が地中海世界に与えた影響を理解する。<br>⑤ローマ帝国が危機を迎えた要因を多面的・多角的に考察し表現する。<br>⑥ローマ帝国の文化的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解している。<br>b．モザイク画などの図像資料や「神皇アウグストゥス業績録」などの資料をもとに、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ４キリスト教の成立と発展 | ①キリスト教の成立の経緯を理解している。<br>②ローマ帝国によるキリスト教への対応を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．勢力を拡大させていたキリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかを理解している。<br>b．当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．キリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| 第２学期 | | 第５章　イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 | １アラブの大征服とイスラーム政権の成立 | ①アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開を理解する。<br>②ウマイヤ朝の領域的な広がりとその支配の特徴を理解する。<br>③アッバース朝成立の背景とその統治の特徴を理解する。<br>④イスラーム文化の成立の経緯を理解し、またその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。<br>⑤イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。<br>b．イスラーム政権の拡大を示す地図やアラベスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問，追究してみたいことなどを見いだして，見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ２ヨーロッパ世界の形成 | ①ヨーロッパの自然条件と大規模な人の移動との関係について理解する。<br>②ビザンツ帝国の繁栄について、同時期の西ヨーロッパと比較したうえで理解する。<br>③ローマ教会とフランク王国の関係を多面的・多角的に考察し表現する。<br>④カールの戴冠が世界の歴史において持つ意義について理解する。<br>⑤ノルマン人が西ヨーロッパ世界において果たした歴史的役割について理解する。<br>⑥西ヨーロッパに特有の封建社会の仕組みについて理解する。 | a．西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。<br>b．荘園の構造を示す概念図や『ガルベール＝ド＝ブリュージュの日記』などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | 第６章　イスラーム教の伝播と西アジアの動向 | １イスラーム教の諸地域への伝播 | ①イスラーム化が中央アジアにもたらした変化について理解している。<br>②南アジアにおいてイスラーム教が受け入れられていった経緯を理解している。<br>③東南アジアにおいてイスラーム化が進んだ背景について考察し表現している。<br>④アフリカにおいてイスラーム化が進んだ要因を考察し表現している。 | a．中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。<br>b．『トルコ語・アラビア語辞典』序文などの資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．イスラーム教の各地への伝播について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ２西アジアの動向 | ①トルコ人の進出が西アジアにもたらした変化について考察し表現している。<br>②十字軍やモンゴルの進出が西アジアにもたらした影響について考察し表現している。<br>③マムルーク朝のもとでのカイロの繁栄がどのように実現したのか理解している。<br>④イベリア半島におけるイスラーム勢力の興亡について理解している。 | a．アッバース朝衰退後の西アジアにおいて、政治的統一は失われたが、経済・文化の交流を通じてイスラーム教徒（ムスリム）の連帯が維持されたことを理解している。<br>b．トルコ人の進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来といった外圧が、西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第7章　ヨーロッパ世界の変容と展開 | 1西ヨーロッパの封建社会とその展開 | ①中世の西ヨーロッパにおいてローマ＝カトリック教会が普遍的な権威を持つにいたった背景を理解する。<br>②十字軍の遠征の経緯を理解し、それが社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③西ヨーロッパで商業が盛んになった理由を多面的・多角的に考察し表現する。<br>④中世の都市が獲得した政治的地位や、そこでの人々の暮らしについて理解する。 | a．中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較をふまえて理解している。<br>b．中世都市の景観を示す図像資料や当時の交通路を示す地図をもとに、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．中世の西ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | 2東ヨーロッパ世界の展開 | ①ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。<br>②ビザンツ文化が果たした世界史的な意義について理解する。<br>③スラヴ人が各地域で自立していった経緯を理解する。 | a．ビザンツ帝国の衰退の過程と、その周辺のスラヴ人および非スラヴ人の動向について理解している。<br>b．西ヨーロッパやイスラーム勢力との関係をふまえたうえで、ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．東ヨーロッパ世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | 3西ヨーロッパ世界の変容 | ①封建社会が解体に向かった背景を多面的・多角的に考察し表現する。<br>②教皇権の衰退と王権の伸張の関係について理解する。<br>③各国における、身分制議会の成立と王権の伸張の関係を理解する。<br>④百年戦争によるイギリスとフランスの変容を多面的・多角的に考察し表現する。<br>⑤スペインで国王による中央集権化が早く進んだのはなぜか理解する。<br>⑥神聖ローマ帝国で中央集権が進まなかった要因を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動きを理解している。<br>b．大憲章や金印勅書などの資料をもとに、中央集権国家の形成に向けた各国の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．西ヨーロッパ世界の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | 4西ヨーロッパの中世文化 | ①中世の西ヨーロッパにおいてキリスト教が果たした文化的役割を理解する。<br>②西ヨーロッパにおける大学の成立過程を理解する。<br>③中世の西ヨーロッパの美術や文学と、その時代の社会との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．中世の西ヨーロッパの文化について、キリスト教の影響が大きかったことを理解している。<br>b．大聖堂の写真や大学の講義風景を描いた図像資料などをもとに、中世の西ヨーロッパの文化的な特徴を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．中世の西ヨーロッパの文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第８章　東アジア世界の展開とモンゴル帝国 | １アジア諸地域の自立化と宋 | ①10世紀前半に東アジアで政権の交替があいついだ背景や、そこで成立した諸国の共通点を理解する。<br>②宋の対外関係の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③宋における社会や経済の発展の様子を理解する。<br>④宋代の文化の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．10～12 世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。<br>b．「清明上河図」などの図像資料や荘綽『鶏肋編』などの資料をもとに、宋代の経済発展が社会に引きおこした変化を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．10～12 世紀の東アジアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ２モンゴルの大帝国 | ①モンゴル帝国が成立した背景を多面的・多角的に考察し表現する。<br>②モンゴル帝国による支配が東アジアにおよぼした影響について理解する。<br>③モンゴル帝国時代の東西交流の新しさを多面的・多角的に考察し表現する。<br>④モンゴル帝国解体の要因を理解する。<br>⑤ティムール朝がモンゴル帝国から受け継いだものを多面的・多角的に考察し表現する。 | a．モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。<br>b．モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．モンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | 第９章　大交易・大交流の時代 | １アジア交易世界の興隆 | ①モンゴル帝国解体後のアジア各地の状況について理解する。<br>②明朝初期の国内統治の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③明との朝貢関係が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>④世界的な商業の発展が明の朝貢体制におよぼした影響を理解する。<br>⑤明代後期の中国の社会・経済・文化と世界の商業の活発化との関係を多面的・多角的に考察し表現する。<br>⑥16世紀の東南アジアで台頭した新興勢力の共通点を理解する。 | a．「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。<br>b．「南蛮屏風」などの図像資料や鄭暁『今言』などの資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．アジア交易世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ２ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 | ①ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。<br>②ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解する。<br>③中南米の先住民が短期間でスペイン人に征服された要因を理解する。<br>④16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。<br>b．ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス＝カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| 第３学期 | | 第１０章　アジアの諸帝国の繁栄 | １オスマン帝国とサファヴィー朝 | ①オスマン帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。<br>②オスマン帝国の勢力拡大の経緯を理解する。<br>③オスマン帝国の統治が当時の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>④サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。<br>b．オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．オスマン帝国とサファヴィー朝について、自分が抱いた興味・関心や疑問，追究してみたいことなどを見いだして，見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ２ムガル帝国の興隆 | ①ムガル帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。<br>②ムガル帝国におけるヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の関係を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③ムガル帝国の衰退の背景や要因を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．ムガル帝国のおいて非イスラーム教徒に対する施策がどのように変化したのかを理解している。<br>b．ムガル帝国時代の細密画などの図像資料や領域を示す地図などをもとに、ムガル帝国の興隆と衰退が南アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．ムガル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ３清代の中国と隣接諸地域 | ①清朝の領土に組み込まれた民族と、彼らがどのように統治されていたかを理解する。<br>②清代における周辺諸国と中国との関係について、明代と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。<br>③漢人の社会や文化に対して清朝がどのような態度をとったのかを理解する。 | a．清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。<br>b．皇帝を描いた図像資料や『康熙帝伝』などの資料をもとに、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第１１章　近世ヨーロッパ世界の動向 | １ルネサンス | ①ルネサンスの担い手や彼らの動機について理解する。<br>②ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③多方面におよぶルネサンスの成果が後世に与えた影響を理解する。 | a．ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。<br>b．美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しさと古さを多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ２宗教改革 | ①それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。<br>②カルヴァンの教えの特徴やイギリス国教会の成立の意義を理解する。<br>③カトリック改革が持つ世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現する。 | a．新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。<br>b．「九十五カ条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ３主権国家体制の成立 | ①主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。<br>②16世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解する。<br>③アウクスブルクの和議とウェストファリア条約の異なる点を理解する。 | a．主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。<br>b．ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ４オランダ・イギリス・フランスの台頭 | ①17世紀におけるオランダの経済的な覇権獲得および衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。<br>②17世紀における2つのイギリスの革命について、国際的な状況もふまえて理解する。<br>③近世フランスの強みと課題を多面的・多角的に考察し表現する。<br>④イギリスとフランスの覇権争いがグローバルな戦いになった背景を理解する。 | a．オランダ・イギリス・フランスがそれぞれ持った有利な点や課題を理解している。<br>b．覇権争いの経過や「権利の章典」などの資料をもとに、イギリスが覇権を握るに至った要因を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．オランダ・イギリス・フランスの覇権争いについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |
| | | | ５北欧・東欧の動向 | ①主権国家体制においてポーランドとスウェーデンが占めた位置を理解する。<br>②ロシアが主権国家体制に参入していった経緯を理解する。<br>③プロイセンとオーストリアの関係の推移を多面的・多角的に考察し表現する。<br>④啓蒙専制主義の特徴を理解する。 | a．北欧・東欧の各国の関係の推移や、それぞれにおける改革の内容を理解している。<br>b．ロシア・プロイセン・オーストリアの状況を比較したうえで、啓蒙専制主義による改革が各国におよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c．北欧・東欧の動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ６<br>科学革命と啓蒙思想 | ①科学革命の成果について、自然法則の発見以外にも着目して理解する。<br>②科学革命がヨーロッパ人に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。<br>③従来の学知の展開と比較したうえで、「実用の学」としての啓蒙思想の意義を理解する。 | a. 科学革命と呼ばれる一連の変化がどのような背景で起こったのかを理解している。<br>b. ルネサンスとの比較をふまえて、科学革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c. 科学革命と啓蒙思想について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート提出 | ワークシート<br>ノート提出<br>授業観察<br>課題研究 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度